オンライン初期日本語教室
「はじめての横浜～日本語で話そう」1月コース

主催：(公財)横浜市国際交流協会

「横浜に来たばかりの人、日本語をはじめて勉強する人」を対象とした「はじめての横浜」1月コースは「自分のことを話す」をテーマに開催しました。
3つのグループに分け、1グループは入門者を中心に「ひらがな」「カタカナ」もしっかり学習しました。他2グループは継続者も多く、ある程度話せる人が集まり女子会トークのように盛り上がっていました。
最初は緊張して「難しくてわからない」と話していた学習者も、次第に笑顔が見え、最後には自ら話し出していました。同じ国の学習者がお互いに母語で助け合い、とても仲良くしている姿が印象的でした。
第5回教室のテーマ「自分の好きなものが言える」では、日本のテレビ番組の話が出て、「月曜日から夜更かし」が中国で大人気で私も好きだ、子どもの番組は「ピタゴラスイッチ」や「スパイファミリー」などを話し学習者がお互いに好きな番組情報を共有していました。
横浜情報では、1月の「初詣」から3月の「お花見」まで季節の情報も盛り込みました。1月の「初詣」では「神社とお寺は何がちがいますか？」2月の「節分」では、「恵方巻を食べるときに見る方角は毎年違いますか？」などの質問がありました。3月の「花見」では、横浜市内の梅や桜の名所の話題で「私は来週末、家族と河津桜を見に行きます」と話した学習者もいました。横浜に長年在住していてもなかなか家から出ることがない学習者もいて、この横浜情報を見て出かける機会が増えるといいなと感じました。

参加者の声

- 日本語が上手になった。
- グループの雰囲気がよかった。
- 生活に役立つ情報があった。
- オンライン教室でよかった。
- 横浜の情報がよかった。

教室名
「はじめての横浜～日本語で話そう」1月コース

講師
小澤 照恵さん（日本語教師、認定 NPO 法人地球学校）
中村 美喜さん（日本語教師、認定 NPO 法人地球学校）
木下真梨子さん（日本語教師、YOKE日本語サポーター）

日時
2023年1月16日、19日、23日、26日、30日
2月2日、6日、9日、13日、16日
14:00-15:15 全10回
事前交流会（1月10日）

場所
オンライン（ZOOM）

対象
横浜市在住、来日したばかりの人、16歳以上の人
日本語を学習した経験がない、始めたばかりの人

参加者数
日本語学習者 14人（のべ100人）
（中国8人 、香港1人 、アメリカ1人 、サウジアラビア1人
ベトナム1人、 ウクライナ1人、フィリピン1人 ）

よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center
https://yokohama-nihongo.com
運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会（YOKE）

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」をサポートします！

横浜市委託事業／文化庁令和4年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用
©2021 Yokohama Association for International Communication and exchanges(YOKE)

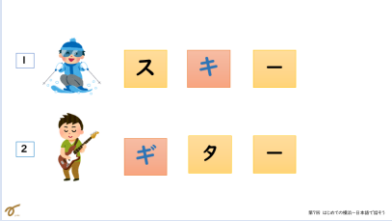
2022(令和4)年度 事業報告

10回目には学習者同士が共通点を見つけ、待ち合わせ場所や待ち合わせ時間を決め、発表しました。

「はじめての横浜～日本語で話そう」1月コース

カリキュラム

各回のゴール	横浜情報など
簡単な自己紹介ができる。時間、場所に合わせたあいさつができる。	神社&お寺
相手の言っていることがわからない時聞き返すことができる。質問したり質問に答えたりすることができる。	防災
日本語の言い方がわからないとき、どういえばいいか質問して、その答えを理解することができる。	商店街
第1～3回復習、文字(ひらがな長音・促音)	図書館①
自分の好きなものが言える	中間アンケート
自分の好きなことが言える(趣味など)	季節の行事(節分)
第5～6回復習、文字(カタカナ)	横浜市多文化共生総合推進センターの紹介
1日のスケジュールが言える	図書館②
日程を決めるためにお互いの都合を尋ねあうことができる	横浜の公園(梅&桜)
学習者が自身で、できるようになったことを確認できる。	地域の日本語教室案内



教室の基本的な流れ

時間	事柄
13:45	ZOOM入室開始
14:00	教室開始 簡単な会話
14:10	グループ活動(2～3人の小グループ)
14:50	全体活動(3グループ合同で)
15:00	横浜情報コーナー
15:10	次回の案内
15:15	終了

「これは日本語で何ですか?」

2022年度の「はじめての横浜」はこれが最後のコースになりました。中には、昨年の1月、7月、10月コースを複数回継続している学習者もいました。最初はあまり発言のなかった学習者も10回目の教室で自らグループのまとめ役になり、どんどん日本語を使って話を進めていく姿に驚きました。「私のお気に入り」ではお子さんの作った陶芸をうれしそうに見せていました。

よこはま日本語学習支援センター
Yokohama NIHONGO Support Center
https://yokohama-nihongo.com
運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」をサポートします!

横浜市委託事業／文化庁令和4年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用
©2021 Yokohama Association for International Communication and exchanges(YOKE)